

## (1) 持続可能な水道事業の経営について

### 【石岡市水道事業の概要】

- 石岡市水道事業は、「八郷地区」を給水区域としている。「石岡地区」については湖北水道企業団の給水区域となっている。
- 給水区域は「中央浄水場」、「園部浄水場」、「下林浄水場」、「山崎浄水場」の4つの給水系統となっている。
- 水源は 井戸地下水 及び 県水受水（中央浄水場）。  
浄水場では導水された原水を浄水処理し、配水池へ送水している。
- 石岡市水道事業は、複数の簡易水道事業を統廃合して創設されたことから、民地配管の課題や山間地に施設が散在し、地形特性により非効率的な供給体制となっている。  
(出典：石岡市水道事業中長期基本計画概要版より)

### 【石岡市水道事業の課題】

- 深刻な人口減少等に伴い、水需要及び水道料金の大幅な減少  
(給水人口の深刻な減少： H26：22,264人 → R5:20,205人)
  - 施設等の老朽化に伴う更新需要の増大、地形特性による非効率的な施設配置
  - 管路の老朽化が進行 有収率の低下  
(有収率の低下 H26：75.27% → R5:74.55%)
  - 石岡市のエリアは地下水採取の規制区域 自己水源の確保困難  
(井戸の許可は仮許可 別紙のリーフレット「いばらきの地下水」より)
  - 専門人材の確保と人材育成の必要性  
(電気・機械・土木等の専門技術業務が必要。人事異動により技術継承困難)
  - 水道料金以外の財源が少ない (国庫補助事業・地方交付税措置など)
- ◇現在の経営形態を前提とした経営改革の取り組みだけでは、将来の水道サービスを確保することは困難な時期に直面しつつある。

